

令和2年度の教育活動等に対する学校評価書

幼稚園教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ●未来に伸びゆくこら 体験活動を豊富にさせ、子どもの持っている能力に期待し大きく育てる ●心とからだの健康 豊かな感性を養うと共に健康な身体を育み育てる ●地域の実態に即応した教育をめざして 家庭が子どもによせる期待感や願いを保育に生かし育み育てる
基本目標	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなと仲良くできる子(豊かな人間) ●自分のことは自分でできる子(自主・自立の育成) ●考えたり工夫できる子(能力の育成・特性の伸長) ●ものごとに感謝できる子(情緒の発達) ●元氣よく遊べる子(健康)

分野	評価項目	自己評価		外部評価	
		評価	反省と改善策	評価	意見
園運営	保育活動や園行事へ保護者や地域の人々の参加が図られている	B	新型コロナウイルスの影響で、感染症対策の為、COCOAや人数制限を設ける等対策を行いながら行事を開催した。動画配信やHPの掲載を増加させた事で、閲覧数の増加につながり家庭との連携を図ることができた。また、保護者の方の立場に立って情報を発信することの大切さを感じた。幼稚園では、月1回の避難訓練を行っているが、もっと内容を見直し、回数を増やして行っていけたらいい。	B	新型コロナウイルスへの感染症対策がしっかりと取られていた為、安心して行事に参加できた。コロナでの休園中の動画配信や活動内容の変更等、試行錯誤し子ども達の心に寄り添って下さっているのが伝わりとても良かった。
	家庭や地域へ適切に情報を発信している(HPや学校との連携等)	A		A	
	家庭と連携した防災・防犯・交通安全等の安全教育や訓練が行われている	B		B	
教師の努力目標	一人ひとりを見つめ、愛情を持ってより確かな教育を目指す	B	子どもとの関わり保育をする中で、見通しを持った計画の必要性を大いに学んだ。活動に対しても、完成したことを楽しむだけでなく、完成するための子どもたちとのやり取りや導入等過程を楽しみながら、完成を目指したい。経験年数やクラスの状況により、各先生方の子供たちへの対応に若干の個人差があるため、学年主任や経験豊富な先生でフォローしていける環境がさらに必要である。その為に、個人が足りていない部分を自覚し、更なるキャリアアップの為に何が必要であるか、常に具体的な目標を持って、保育に取り組んでいくことが大切である。	A	子どもの悩みに耳を傾け、解決に導いて下さったり、子どもの成長を保護者と共に喜んで下さったりと家庭との連携が図れていると思う。今後も、他園や先輩の先生方の良い所をどんどん取り入れ、自分のスキルアップに繋げていって欲しい。
	豊かな心と、よりたくましい人間性を育てるために努める	B		B	
	豊かな感受性を持つ	B		B	
	子どもの立場にたって、子どもと話したり遊ぶことができています	B		A	
	やさしさ、きびしさ、はげましのある教育に努める	A		A	
	積極的に遊びに参加し、元気に遊ぶ	A		A	
園児の具体目標	集団生活に慣れ、ルールを守り基本的な生活習慣を身につける	B	様々な体験を行うために、もっと子どもたちの感受性を豊かにできる、家庭や日常の保育では経験できないことの体験活動ができるのではないかと感じた。近年の縦割り活動の継続から他児を思う気持ちが身についてきている。行事に対しての固定概念を持つのではなく、子ども達が自由な発想で表現し自信に繋がるような言葉がけを行うことで、新たな可能性を引き出していきたい。	A	縦割り活動の中で、異年齢児と触れ合う経験は、思いやりの心や、お友だちの優しさに触れることができるのでとても良いと思う。クリスマス会での生演奏や、和太鼓、獅子舞等は、生で観ると迫力があり感動を得られる貴重な経験だと思うので続けて欲しい。
	どんなことも、さいごまでやり遂げ、みんなで達成感をあじわう	B		B	
	集団での遊びに喜びを感じ、安全に遊ぶ	B		A	
	思いやりのある心、命の大切さを知る	B		A	
	さまざまな経験をし、豊かな心を持っている	A		A	
	教師、友だちらと感動を常に共感している	A		A	

A: 良くできている B: できている C: あまりできていない D: できていない

財務状況

公認会計士監査により、計算書類は、学校法人会計基準(昭和46年文部省令第18号)に準じて、令和2年度の経営状況及び財政状況の全てにおいての重要な点において適正に表示していると認められている。